

## 探訪 チャレンジ企業 44

### 観光と物産の融合

内灘町サンケイブリーダー(有)とアンテナショップ・ブラウンスイスの挑戦  
サンケイブリーダー有限会社：内灘町

#### 一 内灘サンセットパーク内の乳製品販売所 「ブラウンスイス」

内灘町に新名所サンセットパークが誕生したのは、二〇〇〇年九月のことだが、少し遅れて隣接地にサンセットパークも開園した。その一角に地元産の青果物や蜂蜜に併せて、牛乳やソフトクリーム、ジェラート(イタリアンアイス)、ヨーグルト等の乳製品を販売するモダンな店がある。もともとは景観を生かした公園造りの一環として計画され、公募の上、町より借り受けたものだが、今は今回御紹介する川上氏が社長を務める「有」U S P 企画」が管理運営にあたり、

川上氏がそれらの販売店のうち、牛乳と乳製品を販売する「ブラウンスイス」を直接経営する。「ブラウンスイス」とは、本来は乳牛の種名である。同産の牛乳は脂肪が多くて栄養価が高く、コクがあるにもかかわらず、まろやかな味をもつことで有名だが、反面乳量が少なく、しかも放牧が必要なため導入する農家は多くはない。いわゆる希少価値の高い乳牛なので、その原料を使用していることを強調するために、店舗名として採用したのである。



腸内活性ヨーグルト (白い騎士)

#### 二 河北潟干拓地の大牧場 「サンケイブリーダー(有)」

川上氏は、河北潟干拓地で二五haの土地を利用し、二五〇頭の乳牛を飼育する「サンケイブリーダー(有)」の副社長でもある。同氏は金沢市堅町で洋菓子店を営む老舗の次男として生まれ、同店の専務として洋菓子だけでなく、ステーキハウスやカラオケパブなどの経営にも手腕を発揮してきた。また堅町や片町の商店街振興組合の役員として長年に亘り、街づくり而努力してきた。しかし次男として生まれた以上、前



代表取締役副社長の川上充紀氏

途には限りがある。家業と訣別して新たな道を見つめるべく飛び込んだのが酪農の世界である。

妻や兄の了解を取り付け、知人二人と「サンケイブリーダー有限会社」を設立し、河北潟酪農団地の一員に加わったのは、昭和五十九年のことである。

#### 三 河北潟農業の行方

しかし、その後の酪農業界は誤算続きであった。開業時には高値をつけていた乳価も、次第に下落していき、オス子牛や廃牛などの肉価も芳しくない。そして最近のBSE騒動である。前途には暗雲が立ち込めていると言ってもよい。そのため年間一〇〇〇万円の償還金の捻出にも苦しみ、仲間と廃業について話し合ったこともしばしばであった。しかしここへ来て酪農を含めて農業にも曙光が差しはじめた。「高品質」「高価格」「新分野拡大を目指す」「高生産性」と「高付加価値」を追求する新しい産業としての動きである。広く農業全般に目を注ぎ加工米などの農産物も含めて先の高品質「高価格」等を追求していけば、河北潟は八郎潟と並んで日本農業のシンボリック

な存在であり、高生産性農業、高付加価値農業を展開できる数少ない適地である。河北潟農家の帰趨に、日本農業の未来がかかり、農業の未来が日本の運命を決めると言っても過言ではない。国の運命に同社も深くかわわっていると言ってもよいだろう。

#### 四 観光と農業の同化 「夢の実現へ」

川上氏は、アメリカ留学中に、アルバート先のカリフォルニア州サリーナスの農園で、地平線に落ちる真っ赤な夕陽を見て、非常な感動を覚えた経験を持つ。「もう一度見たい」と思っていたその夕陽を、今度は河北潟の干拓地で見たいのである。この体験が干拓地での活動のパワーの源泉となり、「広大な土地で農業を成功させる」という夢の実現へ向けての大きなエネルギー源となったのである。

氏の行動の理念は、「自分で作ったものを磨き上げて差別化商品とし、自分で販売すること」である。「河北潟干拓地」という農業の最適地を得て、最高級の酪農品を作り出すことにチャレンジし、同時にサンセットパークという



販売の場も得て、「地産地消」を実践する。まさに、壮大な夢の実現である。更に近隣の農産物などを並べてその拡大を狙う。

現時点では「ブラウンスイス」は決して大きいとはいえない。しかし、その背後には二五〇haの土地があり二五〇頭の乳牛がいる。これらを一点に凝縮し、景勝の地を利用して、アンテナとしての機能を果させるには十分な広さを持っている。観光と物産を雄大な景観を触媒として結合させ、サンケイブリーダー(有)とブラウンスイスの双方を成功に導くことを意図した大きな実験とも言えよう。

農場の生産性向上とこれからのショップの拡大が楽しみである。

(お問い合わせ)

サンケイブリーダー(有)

〒九二〇〇〇二二六三

河北郡内灘町湖西二二七

TEL〇七六二二八六〇八二八

FAX〇七六一二八六四二五二

このコーナーでは石川の「チャレンジ企業」を応援しています。取材を希望される方は最寄りの商工会にお尋ねください。